教育家庭新聞

2021年（令和3年）

4月19日

月曜日

第2189号

卯月・陰月・建巳月

子ども読書の日（4/23）
憲法記念日（5/3）
みどりの日（5/4）

第3月曜日発行

教育家庭新聞社
発行所＝〒111-0053東京都台東区浅草橋3-1-8
TEL：03（3864）8241㈹
FAX：03（3864）8245
郵便振替口座　1309－53693
購読申込み　☎03（3864）8241 Eメール kks@kknews.co.jp
ホームページ　https://www.kknews.co.jp/
創刊 昭和36年7月 ©教育家庭新聞社　1部 480円

紙面案内

春の学校図書館特集……2・3面
ＧＩＧＡスクール構想により１人１台端末が配備され、子供たちの学び方は大きく変わろうとしている。ＩＣＴ先進校が、情報活用能力の育成にあたり、学校図書館を核としている事例を紹介。主体的に学ぶための情報スキルを、あらゆる教科で計画的に積み上げている。

学校施設・設備特集……4・5面
近年の学校施設・設備は子供たちの健康・安全を守ることはもちろん、新型コロナウイルス感染症対策や熱中症対策、自然災害対策等も考慮した準備が求められる。

学校保健・安全……6面
例年から大きく遅れて公表された学校保健統計速報。計測時期が相違したため経年比較はできないが、身長・体重の伸びの男女比較等は例年通りの傾向が見られた。

食育・学校給食……7面
食育の出前授業やイベントで、お米を中心にした和食の良さを自作の歌にして伝える「お米マンプロジェクト」代表・小竹一臣さんに、食育への思いを聞いた。

教育旅行・体験学習……8面
感染症対策による緊急事態宣言延長の影響を受けて中止した修学旅行に代えて、オンラインを活用した「リモート修学旅行」を試みる学校が徐々に増えている。

連載
教職員のメンタルヘルス　第75回…1面
学校給食は食育の教材　第68回…7面

■Twitter
@kyoikukatei

■KKS Webはこちら→

「教育家庭新聞」購読申し込み書

「教育家庭新聞」は毎月第3週に発行します。郵送でお届けします。電話・FAX、またはHPからもお申し込みいただけます。
購読者には、新聞紙に加えて、読者専用Webページにアクセスできるidとパスワードをお届けします。
1. 電話 03・3864・8241（弊社販売部）　2. FAX 03・3864・8245
3. ホームページアドレス https://www.kknews.co.jp/　（1部 480円）

お申し込み書（年間10回4800円）5・12月号が休刊です

お名前		
ご職業		
ご住所	〔自宅・通勤先〕（どちらかに○を）　（〒　－　）	
連絡先	電話　（　）	お支払方法 ご連絡を頂き次第、郵便振替及び銀行振込の用紙をお送りします。どちらかでお支払いください。
	FAX　（　）	

災害時の学校給食

自治体の体制整備は1/3

4割が災害で給食に影響

自然災害等で被害をうけた学校が再開する際には、児童生徒にとって学校給食が〝日常〟を取り戻すうえで重要な役割を果たすことから、文部科学省は先ごろ全国の自治体アンケート調査を基に「災害時における学校給食実施体制の構築に関する事例集」を作成、11自治体の事例を掲載した。給食提供に影響する被災経験があった自治体は40・8％、災害に備えた給食実施体制の整備を行っている自治体は33・4％にとどまるという現状が明らかになった。

【7面に続く】

近年は地震、台風等の自然災害が多発しているが、学校施設・設備が被災し学校給食の提供が困難になる事態も発生している。文科省が今回、同事例集を作成した背景にはこのような問題意識があると思われる。一方、災害後の学校再開と日常を取り戻すうえで給食提供が課題になっている。

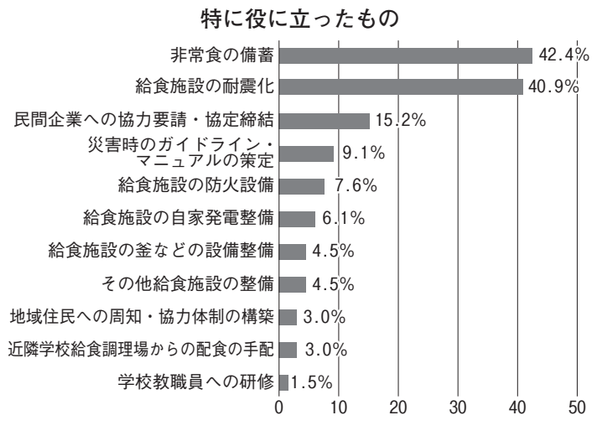
昨年11月～12月にかけて、学校給食を実施する1813自治体等に行ったアンケート調査（回収率77・6％）では、給食施設の防災対策、給食再開までのバックアップ体制構築といった給食実施体制の整備に取り組んでいる自治体は全体の3分の1の33・4％にとどまっている。

整備内容として最も多かったのは「給食施設の耐震化」が80％以上にのぼった。次いで「給食施設の防火設備」、さらに「非常食の備蓄」、「給食施設の釜などの設備整備」、「自家発電整備」、「災害時のガイドライン・マニュアルの策定」などが続いた。

具体的な被災状況で最も多かったのは「停電」が6割近く、次いで「水道断絶」で3割近かった。他に「調理場損壊」、「調理設備損壊」、「道路断絶」、「ガス断絶」等もあった。これらによる給食提供への影響は53・6％が「提供不可」、「通常通りではないが何らかの提供は出来た」が28・3％で、8割以上が何らかの影響をうけていた。

給食実施体制の整備の「あり」「なし」の自治体の影響を比較すると、「給食提供不可」だった自治体は「あり」の34・1％だったが、「なし」では50・6％で深刻な差があった。さらに「あり」の自治体でも給食施設以外にも対策のあった自治体では「提供不可」が28・1％だったが、施設のみの対策の自治体では55・6％で2倍近くになった。また被災後の給食復旧期間が1週間以内だった自治体は、「あり」が78・8％だったのに対し、「なし」では72・0％にとどまった。

災害に備えた学校給食実施体制の中で、特に役立ったもので最多は「非常食の備蓄」（42・4％）、次いで「給食施設の耐震化」（40・9％）だった。



文科省

学校保健統計調査速報

発育状態のみ異例の公表内容

確定値は7月公表予定

文部科学省は「令和2年度学校保健統計調査（速報値）」を3月に公表。例年は6月までに実施される健康診断が、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度末までの実施に変更されたため、回収可能だったデータから身長・体重の発育状態のみを抽出したことから母数が違ったこと、さらに測定時期が例年と変動しているなどの理由で、過去との単純比較ができないなど、異例の公表内容となった。

3月末までに実施された診断結果を4月中旬までに回収する予定であることから、文科省は統計の確定値を7月に公表するとしている。

【6面に続く】

食文化WGが報告書で指摘

薄い食の文化意識

「文化的価値」の可視化を

食文化の振興や活用等について検討してきた文化庁の文化審議会食文化ワーキンググループ（WG）は3月末、報告書「今後の食文化振興の在り方について～日本の魅力ある食文化を未来につなげるために」をまとめた。日本の食文化は自然とも調和し栄養バランスのとれた健康的な食生活で、海外からも健康的との評価や食文化の背景に関心が持たれている。その一方国内では「食を文化として捉える意識」が薄く、価値に気付いていないと指摘。このため「文化的価値の可視化」、「食文化の発信と交流」等の仕組みづくりや促進が必要だと提案している。

文化審議会文化政策部会に昨年8月、新たに設置された同WGは、食文化政策の基本的考え方、文化財制度による食文化の保存・活用、食文化振興の方策について検討。海外の日本食レストラン数は平成25年約5万5000店から、令和元年約15万6000店で3倍に増加（農水省推計）するなど、日本の食文化への関心が世界的に高まっているが、国内ではその価値に気付いていないと指摘する。

今後の具体的な振興方策には、①家庭の料理や食べ方・作法の継承、②地域の食関係者と共に郷土食等の継承、③料理人団体等による技術の記録・継承、出前授業等、④研究機関等の調査研究・蓄積を提案。

地方自治体は地域の食文化の価値の可視化と発信、観光や体験の場づくり等を通し「住民の誇り」を醸成すること。国は顕彰等で「食文化への気付き」を提供することを要請している。

しつけのため「体罰容認」が15％減少

セーブ・ザ・チルドレン 3年前調査と比較

子供へのしつけとしての体罰を容認する大人は3年間で15ポイント以上減少し、その理由は「体罰等が子供に与える影響を知ったから」等が多かった…（公社）セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは先ごろ、今年1月大人を対象に実施した「体罰等に関する意識・実態調査」と、2月子供を対象に「体罰等や子供の権利」に関する調査の結果を発表した。

同団体が2017年7月全国2万人を対象に、体罰に関する調査を実施してから約3年半。17年当時はしつけとしての体罰を「積極的にすべき」（1・2％）、「必要に応じてすべき」（16・3％）、「他に手段がないと思った時のみすべき」（39・3％）で、「体罰を容認する」人が56・8％だった。

今回は「体罰を容認する」人が41・3％で、男性が多く、40代から50代の年齢層で比較的に高かった。同団体は子育て世代への支援策の充実等、報告書に4つの提言をまとめている。

高校教科書248点合格

全国7会場で公開

文部科学省は先ごろ、令和2年度の教科用図書検定の結果を公表。令和4年度から高等学校の低学年、中学校（社会　歴史的分野）で使用される教科書で、全申請点数300点が対象だった。高等学校の共通科目は申請250点のうち248が合格、1点（歴史総合）が不合格、1点が申請取下げだった。専門科目は48点すべてが合格だった。

中学校は社会（歴史的分野）の申請が2点で、1点が合格、1点が不合格だった。

令和4年度から使われる高等学校教科書の申請図書、審査意見書、判定案、検定意見書、修正表、見本、検定基準等は公開資料として教科書研究センター（東京都江東区千石）をはじめ全国7会場で5月25日以降順次閲覧できる。

【スケジュールの詳細は4面に掲載】

列・島・視・界

東京23区内に、新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言に準じた「まん延防止等重点措置」が適用される前夜、テレビのニュース番組で「今日が最後だから思い切り遊びたい」と満面の笑みの若者がアップで放映された▼その緊張感の薄い言葉と振り切ったようにも見える表情に、違和感を覚えたが、1年以上に及ぶ自粛生活から積み重なった、他にぶつけようのないストレスの裏返しだと考えるのは深読みだろうか▼日本財団の18歳意識調査が2月上旬に「コロナ禍とストレス」をテーマに実施した調査では、回答者の50％がコロナ禍で「閉塞感を感じている」と回答。「外出自粛で思うように余暇を過ごせなくなった」と回答した人の91％がストレスを感じている▼深刻なのは、ストレスの向かった先。「不安やイライラ」（36・8％）、「疲労感」（33・8％）は成人・大人にもある状態だと言えるだろう。「死にたいような気持ちになった」（16・0％）、「過食・拒食が続いた」（12・4％）、「自殺未遂をした」（2・4％）といった状態に至っては看過できない▼大人が考える以上に、子供や若者にコロナ禍は影響を与え軽視できない。創設が検討されている「子ども庁」は早くも主導権をめぐり各党間で駆け引き。誰の何の組織なのだろう。

教職員メンタルヘルスサポートネットワーク

教職員のメンタルヘルス

第75回

連載　解決への手法と周囲の心得

リーダーがつくる職場の人間関係

■プライベートな話題から

初任者や転勤1年目など職場に新たに加わった教員との信頼関係を築くために大切なことは何でしょうか。それは「最初から仕事の話をしない」です。

隣で仕事をしている同僚がどんな人か、お互いに知らないまま仕事をしていませんか。そんな希薄な関係では、ある日突然、隣の人がお休みに入っても気が付かないという事態が発生するのです。そんな事態を避けるためにも、「安心して仕事の話ができる土台作り」をしておくことです。

土台作りの方法は至って簡単。プライベートの話をすることで「同僚に関心をもつ」のです。たとえば趣味や特技、休日の過ごし方等。自分との共通点が見つかればお互いの距離がぐっと縮まるでしょうし、共通点が見つからなくても、その人に対する親近感がわいてきます。上手くやっていけるかな？といった不安を抱えた状態と、私に心を開いてくれているなという安心感がある状態。どちらが良好な関係がスムーズに構築できるかは、改めて言うまでもないでしょう。

■信頼してこそ尽くされる

「信頼」と「尽くす」はどちらが先でしょう。リーダーが信頼するから部下は尽くすのか、部下が尽くすからリーダーは信頼するのでしょうか。

凡庸なリーダーは後者でしょう。部下の忠誠心を見て信頼する。だが尽くしてくれるから信頼するという発想はギブ&テイクです。尽くし方が足りないと思ったら、信頼するのをやめようという結果になります。すると部下はどんな気持ちでしょうか。ギブ&テイクの人間関係では、間違いなく心は離れていきます。

だからリーダーが先に信頼するべきです。信頼されたと感じた時、部下は「この人のためなら信頼に応えよう」とします。だが裏切られるリスクもあるので、二の足を踏むリーダーもいますが、リスクを承知で信頼を寄せるから、部下の心をつかむのです。

学校組織は人材勝負です。リスクを負っても先に部下を信頼できるか、問われるのは部下の忠誠心ではなく、リーダーの「度胸」であり「器」です。

■リーダーは人材を育てる

「卵の時に見て、これはいける、これはダメだというのはわからない。人は化けるのです」。これは中邨秀雄・元吉本興業会長の言葉です。人が化けるには3つの要素があると言います。実力4割、運4割、努力2割だと。実力と努力は自分の意志で何とかなりますが運はどうでしょうか。

運とは、人との「縁」や「出会い」のこと。不遇に腐らず、笑顔で、明るく、誠意をもって接していれば、必ず運が向いてくる…そう諭すのがリーダーの愛情です。校長は自分を超える若手教員が育つように貢献してほしいものです。

■失敗を許容する人間力

「成果」とは常に成功することではありません。「成果を出すために失敗を許す」というのは矛盾です。成果を目指す部下と失敗を許す上司との間に齟齬が生じます。その矛盾と齟齬に整合性を持たせるのはリーダーの「人間力」。成果を出せと尻をたたくのは簡単。先頭に立って引っ張るのは容易ではないが出来ます。しかし「思い切ってやれ、責任は私が取る」という一言に、部下は心からの信頼を寄せるのです。

■肩の荷は分かち合うもの

謙虚になって周囲を見渡せば、管理職の周りには「小さな強み」をもつ教員がたくさんいます。周囲に「感謝して」力と知恵を動員して進めば、ことのほか大きな成果をあげることができるのです。「心は見えないが、心遣いは見える。思いは見えないが、思いやりは見える」。

……

筆者＝土井一博（どい・かずひろ）順天堂大学国際教養学部客員教授、教職員メンタルヘルスサポートネットワーク代表、埼玉県川口市教育委員会教職員メンタルヘルスチーフカウンセラー

春の学校図書館特集　2～3面

うねゆたかの
田んぼの絵本（全5巻）小学中級から
1 田んぼの四季
2 田んぼの動物
3 田んぼの植物
4 田んぼの環境
5 田んぼの文化
農家と子ども、生きものの対話から、身近な環境である田んぼに親しみ農家の仕事の役割を知る。
なぜ赤とんぼは人間に寄ってくるの？
足あとにオタマジャクシが集まるのは？
草刈りしないといけないのはなぜ？
土に石ころがないのはなぜ？
なぜ正月はやってくるの？
宇根豊・作 小林敏也・絵 AB判36頁
各巻●2970円　全5巻●14850円
農文協 〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1
☎03-3585-1142/FAX03-3585-3668
http://shop.ruralnet.or.jp/（税込価）

これならわかる！プログラミング
くもんのSTEM（ステム）ナビ プログラミング
エコー・エリース・ゴンザレス/作
グラハム・ロス/絵
山崎正浩/訳　石戸奈々子/監修
コマ割り絵本形式で、プログラミングやITの基礎を楽しく伝えるシリーズ。
全8巻
ゼロとワンが紹介 プログラミング言語のいろいろ
アルと考える アルゴリズムってなんだ？
バグと挑戦 デバッグの方法
アンドとオアが伝える 論理演算の使いかた
フローが見せる 制御フローのはたらき
スタックが語る データ構造の大切さ
チップが案内 ハードウェアの役割
ウェブと調べる インターネットのなりたち
■A4変型判・ハードカバー・各32ページ
■定価：各1,650円（税込）
■対象：小学高学年から
くもん出版
〒108-8617 東京都港区高輪4-10-18
TEL.03(6836)0301 FAX.03(5421)1612
https://www.kumonshuppan.com/

大きな写真やイラストで調べ学習にも役立つ！
和紙ってなに？
国語の教科書（光村図書4年）の「世界にほこる和紙」に対応。各地の和紙や、特徴、作り方、和紙の工芸品など、和紙について詳しくわかるシリーズです。
①東日本の和紙
②西日本の和紙
③和紙のきほん
④くらしのなかの和紙
全4巻
◆「和紙ってなに？」編集室 編
◆小学校中学年から
◆各定価：3,300円
理論社 東京都千代田区神田駿河台2-5
https://www.rironsha.com
TEL.03-6264-8890 FAX.03-6264-8892

もっとある！学校図書館の司書が選ぶ
小中高生におすすめの本220
東京・学校図書館スタンプラリー実行委員会編著　学校図書館で働く「本のコンシェルジュ」司書と司書教諭が選書するブックガイド第2弾。最近刊行された本から選りすぐりの220冊を紹介。1760円
中高生からの防犯 活かそうコミュ力！
武田信彦著　日々の意識や「予防」を中心に、中高生から実践できるコミュニケーション力を活かした〈防犯〉をレクチャーする。1760円
ぺりかん社　税込価格
113-0033 東京都文京区本郷1-28-36
☎03-3814-8515 http://www.perikansha.co.jp/

学校で必ず役に立つ！
トラブル解決へ的確な道案内
弁護士と精神科医が答える
学校トラブル解決Q&A
様々なトラブルへの法律を根拠にした対応と精神面への対応を、弁護士と精神科医が的確に答えます。トラブル解決に確実にアプローチする手法がわかり、特に「いじめ」「学校の責任」「特別な配慮を要する子どもたち」「保護者要求」等の問題に丁寧に答える教師必携の1冊です。
佐藤香代・三坂彰彦・佐藤克彦／編
A5判並製320頁　本体：2300円＋税
子どもの未来社
〒101-0052 千代田区神田小川町3-28-7-602
TEL:03(3830)0027 FAX:03(3830)0028

本もネットも余さず活用！
最新版 親子で学ぶインターネットの安全ルール 小学生・中学生編
［著者］いけだとしお、おかもとなちこ
［定価］税込1,650円（10%税）［体裁］A5変形判
令和3年度検定教科書「国語1」（中学1年生用光村図書）でも紹介。ネットとSNSを安全に使うために親子で一緒にルールを作ります。
GIGAスクール時代に対応！
オンライン学習・授業のための基礎知識とアプリ操作ガイド
［著・監］赤堀侃司
［定価］税込1,870円（10%税）［体裁］B5変形判
オンライン学習に必要な知識と操作方法が一冊に。G Suite for Education、Office 365 Education、Zoomを網羅して、学校環境に合ったツールを見つけられます。
オンライン学習・授業のデザインと実践
［著・監］赤堀侃司
［定価］税込1,870円（10%税）［体裁］B5変形判
ICT教育の第一人者によるオンライン学習の考察と、小・中・高9校の先生方による事例集です。「アプリ操作ガイド」とは姉妹本。
株式会社ジャムハウス
〒170-0004東京都豊島区北大塚2-3-12-302
TEL 03-6277-0580 FAX 03-6277-0581
https://www.jam-house.co.jp

新型コロナウイルスに対する
学校の感染対策
武藤義和 著
A5判・144頁 定価2,640円（税込）
ISBN978-4-621-30603-1
学校に特化した感染対策本！
何をどこまですればいいのか？
授業中、食事、運動、修学旅行など、学校ならではの感染対策のギモンに感染症専門医がお答えします。
丸善出版
〒101-0051 東京千代田区神田神保町2-17
☎03-3512-3256 FAX03-3512-3270
https://www.maruzen-publishing.co.jp

メディア・リテラシーの教育論
―知の継承と探究への誘い―
中橋 雄 編著
A5判・240頁・2420円（税込）
メディア・リテラシーの理論や実践にまつわる研究を概観し，今後の研究課題を提示。国語科教育等，周辺領域との関連にも言及。
デジタル社会の学びのかたちVer.2
―教育とテクノロジの再考―
A.コリンズ・R.ハルバーソン 著
稲垣 忠 編訳
A5判・232頁・2420円（税込）
遠隔学習や，生徒に個別最適化された学習を可能たらしめるテクノロジを，公教育にどう導入し活用できるか。建設的な議論を提供。
北大路書房
〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8
TEL 075-431-0361 FAX 075-431-9393
http://www.kitaohji.com